



# もりの手紙

mo ri no te ga mi



NO 287 / 2021

森にいこうよ!  
もりメイト倶楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

## 《 安全第一! 》

自分のために  
仲間のために  
家族のために

## contents

- ★総会書面表決のお知らせ  
..... 2
- ★「この人」あり：山本理事長  
・ 班長会報告  
..... 3
- ★5月部会報告 里山：岩田  
クラフト部会：本廣  
..... 4
- ★樹木いきいき講座その9：藤原  
・ 今月のひと枝・コムギ  
..... 5
- ★6月・各部の活動予定  
・ 湯来の元気の店紹介  
..... 6

NPO 法人もりメイト倶楽部 Hiroshima

## 会費納入及びご寄付のお願い

私たちの活動は、森林ボランティアリーダー養成講座(現もりメイト育成講座)で、森林整備のノウハウを学んだ1期生の有志が中心となり1997年に設立し、今年度で24年目を迎えました。長年、里山の手入れは当然のことながら、「自然環境の保全」を多角的な視点で活動を展開しています。

例えば、伐木を切り捨てず加工するシステムを作り、資源として材を有効利用することを他団体に先駆け、いち早く手掛けました。また、未来を担う青少年への森林環境教育を重要と考え、自主事業の「もりメイトキッズ」を創設、福祉施設の技能訓練に関わるなど、時代の変化や社会ニーズも踏まえた対応をしてきました。これらは、多くの市民に森の重要性を啓発する機会となっています。

さらに、広島県にしか生息しないヒョウモンモドキほか、多くの「希少生物の保護活動」にも力を入れています。

以上の様な活動を継続するには、皆様のご支援が不可欠です。昨年に引き続き、今年もまたコロナの影響で様々な活動やイベントが中止となり、正直、赤字に追い込まれています。皆さんの会費が大きな支えです。どうか、次の世代に向けた活動を一緒に応援いただければ幸いです。

～協賛企業様の紹介は、P6に掲載させていただきました。～

もりメイト倶楽部  
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

### 『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

### 例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)  
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



# 令和3年度総会の書面表決のお知らせ



本年度は、昨年より深刻な新型コロナによる感染が続き、緊急事態宣言が発令されさらに延長されました。マスクの着用、ソーシャルディスタンス、テレワークなど新常識が浸透し、暮らしも変わりつつあります。このような状況の下、感染拡大防止の観点から理事会において協議の結果、今年度の総会については書面表決とします。理事等の参加で、最小限の人数で総会を実施する事となりました。現状に鑑み、誠に残念ですが、不本意ながら致し方ありません。何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 総 会

**【日時】 令和3年6月12日(土)14時～16時**

**【議事】(1)第1号議案 令和2年度事業報告**

**(2)第2号議案 令和2年度収支決算報告**

**(3)第3号議案 令和3年度事業計画案**

**(4)第4号議案 令和3年度事業予算案**

**(5)第5号議案 役員の改選について**

※総会における表決について（参考：NPO法人もりメイト倶楽部 Hiroshima 定款）

第5章 総会

（表決権等）

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法により表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

**※正会員の皆さんには、6月号の会報と共に総会の資料と書面表決の葉書を同封しています。葉書提出の期限が短く、誠に申し訳ございませんが、6月10日(木)までに自署の上返信下さい。ご協力下さりますようお願いいたします。**



いつもテキパキと元気、気配りも忘れず、倶楽部を牽引している山本理事長。そのタフさ行動力、見識の深さの源はいったいどこから？今回は、そんな理事長の人となりに触れてみたいと思います。26歳の時に単独世界一周を果たし、見出した事は・・・。



**私**は26歳の時、リュックサックを背負い低予算で海外を巡るバックパッカーとして旅に出ました。そして、初めて外から日本を顧みた時、なんと自然が豊かで素晴らしい国だということに気がきました。しかし、食物自給率が低く、当たり前にある水や農業の大切さを何も考えずに生きていられる人々の多さに疑問を感じていきました。それから毎日食べるものがどのように作られて、私たちの命を生かしてくれているのかを考えるようになりました。

**あ**る日、まだ若き30歳の時にガンが見つかり、時間には限りがあると「人生観」が変わりました。なるべく自然の中で過ごしたくて、キャンプや登山に行っていました。そんなある日、登山道からは外れてしまい道に迷っていた時に、美しいササユリが人に見られることなく咲いている風景に出会いました。精いっぱい命を輝かせて、それはとても美しい姿でした。人は人から見られる自分を気にしますが、それよりも私の使命を真つすぐやるのが大切だと、自然が教えてくれました。

**幸**い手術で治ったあと、農業が学びたくて縁あって世羅地域で都会の若者と農業をしている若者の交流と、「農的暮らし方」を伝える『農業体験塾』を始めました。ある日、その会で田植えをしていて、この田んぼの水はどこから？川から・・・森から・・・と気付き、森の事を勉強したいと思っていた時に、第1回もりメイト養成講座（現もりメイト育成講座）を知り申し込みました。約200人が申し込んだ年だったので、とても驚きでしたが、せっかくその中の30人に入ることが出来たので、学ぶ喜びを感じながら、続けて行こうと決めたのです。

**卒**業して、皆さんに呼びかけてグループを作りました。それが「もりメイト倶楽部 Hiroshima」です。来年で25年になります。森の手入れをしている地域には喜んでもらって、ボランティアを希望される方々には楽しいステージにもなっています。



上に書いた「ある日、」からイマジネーションが生まれていき、使命へと何かの力が導いてくれる。組織の運営は時間が多く取られ、時には苦しいこともあります。目覚めさせてもらったことは幸福なことです。

今、大学で「ボランティア論」を教えています。若い世代にも伝えながら、子どもから高齢者など色々な世代、また企業や行政職員にも森づくりの大切さを伝えていきたいと思っています。《白島のご自宅にて、お母さまと夫の三人暮らし》

～～今回の「この人あり」は、今年度新しく倶楽部に入会されたオーストラリア出身のアレン・ロスさんに向け、山本理事長がメールのやり取りの中で、分かりやすいようにご自分の紹介をされた内容をお借りしたものです。ありがとうございました。～～

### = 「班長会」開いています！安全で楽しく地域へ貢献 =

＊もりメイト倶楽部の活動の中心は例会です＊ 1班：和田、2班：北田、3班：藤原、4班：富田、5班：秋武の各班長が、計画に合わせて担当月の例会の運営を担っています。毎回、活動場所を下見して先方との打ち合わせを行い、活動内容やスケジュールを立て活動計画書を作成しています。今年度は特に、担当班のそれぞれのメンバーが主体性を持って手分けし、例会の運営に取り組んで行くようにする事を確認しました。

班長会での主なテーマは、

- 1) 安全に作業するための周知方法。身近なヒヤリハットの検証をしっかりと行い、危険予知を通して安全の意識を高める。
- 2) 例会で使用する資機材の管理。資機材の管理はチェックリストを作成、共有する。
- 3) 例会の運営についての確認。例会は担当班が中心となって行うが、他の班もフォローに入る。

これからも、皆で安全に楽しみながら例会を進めて行くため、班長会を重ねて行きたいと思っています。



修理された堆肥枠にはカブトムシの幼虫が..!



備品のチェーンソーの修理もお手の物、北野さん

**十分な感染対策で作業～堆肥枠他修理・雑木の整理他～**

5月7日(金) 広島県新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策が決定されて初めての週末、ステージ3の中で里山部会の活動をどうするか迷いましたが、感染に十分な注意をしつつ里山部会を9日(日)に開催しました。

作業内容は、堆肥枠の修理・チェーンソー製材・備品のチェーンソーの修理・雑木の整理・倉庫の修理。

堆肥枠の修理は、私が出した宿題「材料は現地調達」に、川原さん渾身の物ができました(カブトムシの幼虫が育っていました)。製材用のチェーンソーは、修理から戻って直ぐなので順調に作業できました。備品のチェーンソーの修理は、北野さんにお任せしたのですが、壊れた物から部品の調達をして見事に完成していました。雑木の整理は、富安さんがバラバラに置かれた物を一つずつ丁寧に整理していました。倉庫の修理も、ソーチェーンの取付ミス(恥ずかしい)がありましたが、楽しみながら行っていました。

今回、2020年度育成講座修了生の新人 高杉さんが初参加。里山部会の活動状況を見ていただき、ご本人もまた積極的に参加しておられました、感想は「面白かったです!」との事。

今回は、感染拡大防止のため、ロケットストーブを使つての食事の提供はありませんでした。人と人の間隔を開け、昼食を

済ませた後、受け持ち作業の後片付けを終えヒヤリハット有無の報告を受け、14時30分に解散しました。

普段なら、これで全体の確認をして帰れば済むのですが、妙國寺から依頼を受け昨年例会で伐倒したアカマツの処理や、鎌田さんから指摘のあった支障木枯木の状況を見に行くため妙國寺を訪問。立ち入り許可を得て、スクスクの森に入りマーキングをして帰りました。



緑あふれる季節となりました、柿の葉も大きくなりウツギやレモンの花が咲いています。

今月は松が原テラスハウス(仮称)の壁板材料作りを行いました。120枚の板材集めや加工など、これからも大変ですが一歩一歩進めながら作っていきます。

5月12日(水)に『広島市健康づくりセンター健康科学館』にて次回開催予定の「木工クラフト題材」の打合せを行いました。

5月29日(土)に白木小川F入口のヒノキ枝打ち伐採を行い、イス足材料を収集運搬しました。その後、近くのスクスクの森にある四阿に向かい、墨書きされた看板を設置しました。

今月の会員参加者 26人。



タケ(イネ科)は、各節のすぐ上に成長点があり、縮んでいた体を伸ばすように全体が成長すると、以後は高くなり太さも変わりません。(肥大成長を続ける樹木と異なります。)

タケとササの違いは、タケノコの皮が早く落ちるものをタケ、長く残るものがササです。

春先にイノシシは土を掘って食べ、シカは地上に出た柔らかい部分を食べます。人間は靴底の柔らかい地下足袋などで歩き、硬く尖った感触を足掛かりにタケノコを探します。

モウソウチクは江戸時代中期薩摩藩に渡来、肉厚、節の環は1つ。マダケは肉が薄い、環は2つ。片側にはっきりした溝があり、節間20~40センチと長く太さが一定の竹垣や民芸品の材料に使われている。

普通の草木は葉を広げて光合成をして、そのエネルギーで大きくなるので陽射しが十分ないと生長出来ませんが、タケの場合地下茎を通じて他のタケからエネルギーをもらうので、暗い樹林内を侵入しともとあった木を枯らしめます。

タケが鬱蒼と茂っている山を見ると、どこから手を手をつけていいか考えているうちに気持ちが萎えてしまいます。まずは傾斜に沿って縦に、幅数メートルの帯状間伐をするとヤル気が出ます。

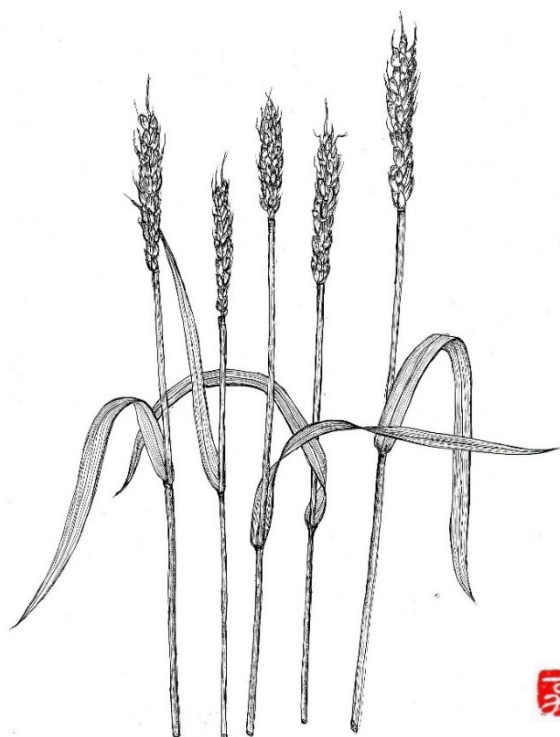
12~2月に1メートルの高さで切ると、3~4月根から水を盛んに吸い上げ切り口から流れ出ます。翌年(切った1年後)根から枯れます。

株分け・移植をするときは、地下茎をなるべく大きく掘り取り、各節間の上部にキリで穴を開け水を注入すると葉が萎れないので、十分な光合成が出来作った糖を根の生長にまわすことが出来ます。

七夕飾りで使うササも、同様に節間に水を入れると萎れません。



今あるひと枝 原田 澄



コムギ(小麦) <イネ科・コムギ属>

西アジア原産の一〜二年草。歴史は古く、中国を経て奈良時代に渡来したとされる。草丈はふつつ0.6~1.6m。晩秋から初冬にかけて蒔いた種は、春に白っぽい小さな花を咲かせ、やがて青々とした穂に育つ。初夏、穂は成熟して黄金色に輝き収穫を迎える。この畑の風景を麦秋と呼び俳句の季語にもなっている。コムギの間には、パンや菓子、うどんなどのめん類の原料になるパンコムギ、マカロニやスパゲティを作るデュラムコムギなどがある。稲、トウモロコシ、麦は世界三大穀物と呼ばれ、人類の主食をまかなう重要な作物。・・・▼ホトトギスが鳴き、山々は美しい緑に覆われ、田は周りの景色を映しながら、早苗が行儀よく並ぶ。ウツギやノイバラも賑やかに白い花を咲かせ、赤紫のノアザミの花が風に揺れる。▼世の喧騒もどこ吹く風、季節は揺らぐことなくゆるやかに流れ、時を刻む。コムギも徐々に黄金色へと色を染め、穂を浪のようになびかせる。やがて、梅雨の晴れ間を待ち収穫の時を待つ。 ~佐伯区湯来町 2021・6月~



# —6月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

## 私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆中外工業株式会社
  - ◆ゆめみらい株式会社
  - ◆こだまクリニック
  - ◆イオングループ
  - ◆株式会社ニシナ屋珈琲
  - ◆株式会社東和テクノロジー
  - ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
  - ◆あいおいニッセイ同和損保株式会社
- 《 毎年のご支援 誠にありがとうございます。協賛企業:順不同:敬称略 》

- 4日(金) 【太田川学校間交流、山田小学校 木工クラフト】安佐北区妙國寺
- 5日(土) 【児童デイサービスゆうゆう 木工クラフト】中区
- 26日(土) 【健康科学館 木工クラフト】中区  
～皆様の参加お待ちしております～
- 19日(土) 【松が原テラスハウス(仮称) 屋根取り付け作業】:大竹市松が原
- 5日(土)、26日(土)
- 連絡先:本廣 090-4141-8603

クラフト  
部会

営業日:水・土・日  
8時～16時  
☎0829-78-0808

産直市とカフェとランチ  
「湯来の元気な店」



狐原山の草刈りで美味しいお昼を準備して下さる「湯来ふるさとプロジェクト」がお店をオープン。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。湯来町和田 628-4(湯の山温泉のすぐ近くです。)



6月13日予定していた里山部会は中止致します  
次回は、7月11日《妙國寺》  
で開催予定です。

里山部会

■連絡先:岩田 080-5751-3798

環研  
部会

もりメイトキッズの最終打ち合わせ他

■日時:6月19日(土)9:30～

■場所:松が原

★6月27日(日)第1回もりメイトキッズ開催★

★ロケットストーブを作ろう★

日時:7月4日(日)

場所:松が原キッズフィールド

講師:北田正仁(2班)

参加費:3,000円(非会員4000円)

≒若干ゆとりあり数人の受付け

■連絡先:佐々木

[mamakin0404@yahoo.co.jp](mailto:mamakin0404@yahoo.co.jp)

災害時にも役立つ  
すぐれもの。  
「格安」で作れます



## 会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。

私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

### 会員の種類

【正会員】: 倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】: 倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

### 年会費

【個人会費】: 3,000円

【企業会費】: 50,000円

### 会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3

【ゆうちょ銀行】1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1

《口座名: 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

### お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】[info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)